

科学者委員会広報分科会（第22期第1回）議事要旨

1. 日 時 平成23年11月7日（月）13：30～15：30
2. 場 所 日本学術会議 5－C（2）会議室
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事、萩原一郎委員、渡辺美代子委員
日本学術会議事務局：企画課 清水誠課長、幕田、石黒、西田
日本学術協力財団：桑原博常務理事、南、末次

【配布資料】

- 資料1 広報分科会の職務及び構成について
- 資料2 第22期科学者委員会 広報分科会委員名簿
- 資料3 広報分科会の運営について
- 資料4 学術の動向の編集について
- 資料5 平成23年10月号以降の掲載記事一覧
- 参考1 第21期における「学術の動向」掲載事項一覧
- 参考2 日学関連イベントスケジュール
- 参考3 現在寄せられている「学術の動向」特集記事の企画案等
- 参考4 最近公表された提言・報告
- 参考5 第22期日本学術会議会員名簿
- 参考6 第22期日本学術会議連携会員名簿

4. 議 事

(1) 広報分科会の職務及び構成について

資料1について事務局説明後、出席委員の自己紹介を行った。

(2) 役員の選出について

- ・分科会内で互選を行い、辻村委員長（第一部）を選出、委員長が北里副委員長（第三部）、小森田幹事（第一部）及び那須幹事（第二部）を指名し、承認した。

(3) 広報分科会の運営について

- ・分科会での審議内容を踏まえ、分科会は非公開にて行うこととした。
- ・今後の分科会は、1月、4月、7月及び10月開催を原則とし、4月及び10月は総会期間中に開催することとした。
- ・緊急案件等が生じた場合は、随時開催（メール審議可）することとした。

(4) 広報分科会委員の『学術の動向』編集委員会委員委嘱について

- ・本分科会メンバーは日本学術協力財団に置かれた『学術の動向』編集委員会の委員を兼ねていることが説明され、日本学術協力財団の桑原常務理事から財団の活動等を説明とともに、編集委員の委嘱を行われた。

(5) 『学術の動向』への編集協力について

- ・編集方針について意見交換が行われ、以下の方針を決定した。
- ・『学術の動向』は文理のバランスのとれた編集とする。
- ・表紙については、特集内容に見合う人物（歴史上の人物を含む）を原則とするが、他にふさわしいもの（会議風景、図表・図解、現場の写真など）があれば可とする。
- ・表紙及びその解説については、原則、特集1の執筆担当が決めることとし、特集を依頼する際に同時に検討依頼を行う。
- ・表紙、表紙の解説、目次及び編集後記については、チェックの観点から、4人の役員で確認した上で校了とする。
- ・編集後記については、記事の内容に応じて役員（もしくは委員）で輪番して執筆する。

(6) その他

- ・平成23年6月23日の幹事会決定「日本学術会議の機能強化について」
4.（1）広報体制の強化の記載があり、今後の四役会議や幹事会での議論を注視し、場合によっては意見を述べる必要があるとの意見があった。

(7) 『学術の動向』の編集作業について

<特集>

(12月号)

- ・特集1：「東日本大震災への対応」
- ・特集2：「震災後の市民社会と人文・社会科学」

(1月号)

- ・特集1：「新4役の座談会」
- ・特集2：「科学・技術の過去・現在・過去・未来ーゆめロードマップー」
「北海道から発信する科学・技術のイノベーションー世界をリードするグリーン & フード・イノベーションの可能性ー」

(2月号)

- ・特集1：「シミュレーションと社会ー文理を結ぶ新しい方法論」
- ・特集2：「アジア・太平洋地域におけるトランスナショナリズムの展開ー社会科学からの展望」

(3月号)

- ・特集1：「原子力総合シンポジウム2011」

- ・特集２：「グローバル化時代における法と教育」

(４月号)

- ・特集１：「第１回大規模計算科学国際シンポジウムー局地災害と地球・宇宙シミュレーションー」

※会議終了後に「シミュレーション・予測と情報公開にもとめられることーこれまで・今・これからー」に差し替え。

- ・特集２：「社会サービスのユニバーサル・デザインー医療・介護・居住の新たな政策課題ー」

<表紙>

- ・２月号～４月号について決定した。

<定期コーナー>

- ・２２期（２６年９月末）で任期満了する会員に対して、アンケート調査を行い、執筆を促すこととした。

※１１月１７日午前に依頼文をメールニュースシステムで送付。

<その他>

- ・日本の原発事故に関し、海外のアカデミー等から講演依頼があり、その内容を寄稿する企画提案が出され、派遣した連携会員に執筆を依頼することとした。

- ・日本学術会議が後援を行った「第９回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム」の内容について、代表者に執筆を依頼することとした。